

「はじめて」の地域活動 やってみよう塾





塾長 林田 慎一

■ 塾長コメント ■

この塾の活動をする中で、これまでの活動では出会えなかった仲間と出会えました。長崎市の事業としての活動は一度区切りをつけますが、この塾を通じて出来たつながりを活かして、これからも「長崎を盛り上げたいけど何から始めてみたら良いかわからない」という人のきっかけになればと思います！

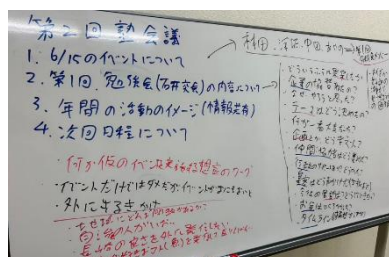
■ 塾の目的 ■

地域でなにか活動してみたいけど、何から初めていいのかわからないといった方を対象とし、同じ思いを持つ仲間とともに地域活動について学びながら、活動をゼロから企画して実践していきます。塾生それぞれが地域活動を始めるきっかけとなることを目指しました。

■ 塾の研究・活動内容 ■

①塾会議

「はじめて」地域活動をやってみようという人が集まった塾のため、「何をするか」「どう決めるか」という2つの課題がありました。塾長が塾生に教えるのではなく、「共に創っていく」という仕組みも会議の中で合意形成を図っていききました。



②事例研究（視察&講演会）

何から始めて良いのかわからない。なので、まずは地域活動の先輩の話を聞きに行こう！ということで、伝習所の運営委員でもある、阿部美和子先生のイベントへの視察とともに、講演をお願いしました。活動初期の段階での視察は、塾生同士の一体感を高める上でも、非常に効果的でした。何か地域活動を始めてみようという方は、早い段階での視察をオススメで



③勉強会（ワークショップ）の開催

塾会議で決めた「〇〇で長崎を盛り上げたい」というテーマでワークショップを開きました。後述の「KPT シート」を使い、できること・課題・挑戦してみたいことを、個人ワークとグループワークを通して、まとめました。一般参加の方も巻き込み、「自分だけでは得られない」考えやアイデアにたどり着く方法を学びました。



④地域課題のヒアリング

当初、長崎全体を盛り上げたい！という思いでアイデア出しを行っていましたが、「地域活動」という趣旨を再考し、特定の地域に絞り課題の下記2か所のヒアリングを実施しました。

長崎市みなと青壮年部深堀は、「深堀恵比寿力キ祭りに対する広報」が課題。伊王島漁協・伊王島朝市会は、観光客と漁業を結びつける仕組みが課題との意見を聞くことができた。

⑤勉強会（スキルアップ）の実施

④であげた課題解決のため、広報動画作成のスキルアップを目的に、長崎大学の北村助教を招き、勉強会を開催した。



⑥地域とのコラボ事業の実施

④で出た課題を解決するため。そして、⑤で得たスキルを実践で発揮するため、深堀と伊王島でコラボ事業を実施した。

・「深堀恵比寿力キ祭り」とのコラボ事業

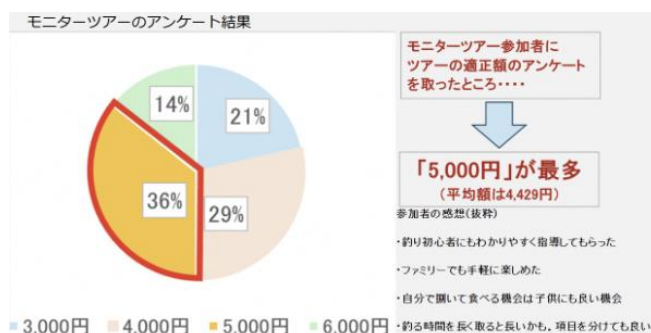
当日の出店者の取材動画を編集し、会場で放映することで、回遊を促した。



（↑作成した広報動画）

・「伊王島モニターツアー」事業

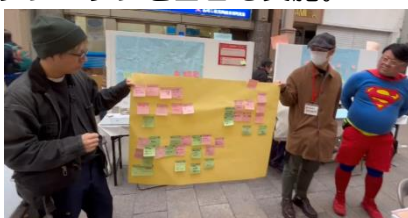
漁業を楽しんでもらうため、魚を釣り、開いて干物を作るモニターツアーを実施し、アンケート結果にまとめた。



・伝習所まつりでワークショップを実施

塾で実施したワークショップを当日も実施。

一般参加の方にも地域活動を考えるきっかけを作りました。



■ 塾活動の成果 ■

本塾の趣旨でもある、地域活動に興味はあるけれど、一步を踏み出せない人の「0→1」のきっかけにしてもらうためには、歩んだ軌跡をまとめたマニュアルにして、多くの人に見てもらうことがよいのでは。という結論に至り、「はじめて」の地域活動の始め方というマニュアルを作成しました。



マニュアルはQRコードからダウンロードできます

本マニュアル抜粋は下記のとおりです。

・本塾の軌跡を7STEPに整理

★地域活動の7STEP

- ①仲間集め（同じ方向性を向ける人の集め方）
- ②合意形成（どう進めるか）
- ③事例研究（過去の事例をどう学ぶか）
- ④意思決定（やりたい事をどう決めるか）
- ⑤ヒアリング（地域の課題をどう把握するか）
- ⑥インプット（スキルをどう得るか）
- ⑦アウトプット（どう実践するか）

■ 本塾からの提言 ■

1. 地域活動へのハードルを下げしてほしい

地域活動のプレイヤーが固定化しているように感じます。新たなプレイヤーが生まれるため、「長崎のために何かしたい」その思いを共有する場だけであると良いと思います。

2. 地域活動は好きなことで実践してほしい

地域活動は、私財と時間を費やすので、「地域のため」の前に「好きなこと」で無いと持たないと思います。サポート側も、その点を理解することで、地域活動が持続可能なものになると考えます。

「はじめて」の地域活動やってみよう塾 活動記録

日 時	場 所	内 容
令和 6 年		
5 月 21 日 (火)	長崎市役所	第 1 回塾会議。自己紹介と今後の流れ等を決定
6 月 12 日 (水)	長崎市民会館	第 2 回塾会議。第 1 回勉強会や年間活動予定を決定
6 月 15 日 (土)	にこっと	視察。第 1 回勉強会に向けた取材を行ない、地域活動を実践している人や参加者の想いに触れた。
6 月～7 月	オンライン	第 1 回勉強会のワークショップ担当で打合せ。
7 月 24 日 (水)	長崎市立図書館	第 3 回勉強会。第 1 回勉強会前の打ち合わせ。アジェンダ案、ワークショップのやり方などを決定。
8 月 4 日 (日)	長崎市民会館	第 1 回勉強会。阿部美和子先生による講演と「〇〇で長崎を盛り上げたい」というテーマでワークショップを実施した。
8 月 26 日 (月)	長崎市民会館	第 4 回塾会議。第 1 回勉強会で出てきたやりたいことをどう実践するかを話し合った。
11 月 11 日 (月)	長崎市民会館	第 5 回塾会議。伝習所の塾として出来ること・出来ないことの説明。制限の範囲で何が出来るか決めた。
11 月 20 日 (水)	長崎市民会館	第 6 回塾会議。商店街や漁協など、連携して地域のために活動できる先を見つけた。
11 月～1 月	各所	思案橋商店街・西彼南部漁協・伊王島朝市会・みなと青壮年部深堀に課題と連携可能性をヒアリング。
令和 7 年		
1 月 8 日 (火)	長崎市民会館	第 7 回塾会議。商店街や漁港関係者との課題ヒアリング結果を共有。第 2 回勉強会で広報動画作成方法の勉強会を開くことを決定。
1 月 22 日 (火)	長崎市民会館	第 8 回塾会議。第 2 回勉強会と深堀・伊王島でのアウトプットと伝習所まつりの内容について打合せ。
1 月 23 日 (水)	長崎大学	長崎大学情報データ科学部の北村助教へ訪問。第 2 回勉強会の内容について相談と打合せ。
1 月 26 日 (日)	伊王島総合開発センター	第 2 回勉強会。長崎大学の北村助教指導のもと、地域の広報動画の作成方法を学ぶ。
2 月 19 日 (水)	長崎市民会館	第 9 回塾会議。深堀・伊王島との連携事業と伝習所まつりについて打合せ。
2 月 22 日 (土)	深堀漁港・沖之島漁港	午前は深堀恵比寿カキ祭りの取材と広報動画の作成と上映。午後は伊王島モニターツアーを実施。
3 月 5 日 (水)	オンライン	第 10 回塾会議。伝習所まつりと成果物の準備の役割分担を行った。
3 月 12 日 (水)	ランタナ	伝習所まつり準備（資料確認・印刷）
3 月 14 日 (金)	ランタナ	伝習所まつり準備（印刷）
3 月 15 日 (土)	ベルナード観光通り	伝習所まつり。成果報告とワークショップを実施。

塾生の感想（塾会議について）

伝習所の会議は市役所周辺にて定期的に関催されていました。参加者達は様々な意味で異なる立場を持つメンバーながらも、長崎を良くするための一歩を踏み出したいという思いは共通しています。地域活動の実例の学習や各々の視点からの発想の交換は実に視野の広がる良き学びの場でもありました。

この会議で交換され培われた知識・知恵や絆が皆の、そして長崎の幸福に繋がることを願い、次の一歩を踏み出したいと思います。

塾生の感想（第1回勉強会について）

先生の講演で印象に残ったのは「5メートルを楽しく」です。長崎を盛り上げるには何をしたらいいのか、と考えると大きすぎてなかなか動けないけど、先生は身の回り5メートルを楽しくすることから始めると仰っていました。実際に先生は講話を聞いていた私たちを引き込み、楽しい会になりました。お話が上手で懂れます。難しく考えず、まず身の回りを少しずつ開拓し、できることを見つけ、長崎を盛り上げる地域活動に繋がるよう努力していきたいです。

塾生の感想（ワークショップについて）

やりたいことを付箋に貼って可視化することで具体的に何をしたいのか、やるのかははっきりしてきた。グループでやることで他の人の考えも聞け、自分にはない発想で長崎を盛り上げる為の新たなアプローチがあるのだと気づけた。結果、数珠繋ぎのように色々なアイデアが出て、ワクワクする時間となった。各グループの発表も含めて、長崎を盛り上げたい人の熱量を感じ、私自身も何をやりたいのか見えてきた。

塾生の感想（第2回勉強会について）

北村助教に動画作成の事を教えて頂き、自分で実際に動画を作ってみました。作成時間は短い時間でしたが、なんとか形になるものだと思いました。「何をアピールしたいか」をまずはっきりさせて、材料を集め、動画の仕上げのイメージを明確にする事が大事だという事がこの勉強会での大きな気づきでした。

塾生の感想（ワークショップについて）

「深堀恵比寿カキ祭」とのコラボでしたが、当塾では塾長のつながりを使い、事前に SNS での露出や地元ケーブルテレビの取材を行っていただきカキ祭りの事前 PR を行った。前回学んだ動画作成技術を駆使して、当日の様子を PR 動画としてまとめ、各所で PR を行った。このカキ祭りも年々ステーキホルダーを増やし、規模を拡大しているが、そんな中でも、この塾がこれまで培ったつながりや技術で PR に貢献出来たと思う。私も、塾の仲間のように、つながりや出来ることを少しずつ増やし、楽しみ続けることも地域活動に繋がるのではないかとと思っている。

塾生の感想（伊王島モニターツアーについて）

「自分たちでおいしい魚を釣って、さばいて干して焼いて食べる」体験モニターツアーを実施しました。家族で参加された小さなお子さんも安全面に注意しながら獲物（あらかぶ）をゲット。参加者からは「釣り楽しか〜！！」の声も上がりました。その後、加工場に釣った魚を持っていき、不慣れな魚さばきにチャレンジ。乾燥機で1時間待ち。次の日に食べましたが、自分で苦労して釣った魚の味は格別でした。

「はじめて」の地域活動やってみよう塾

塾長	林田 慎一				
1	深堀 陽水	21		41	
2	石橋 朋矩	22		42	
3	橋本 一郎	23		43	
4	並木 あおい	24		44	
5	中田 貴之	25		45	
6	嘉松 可奈子	26		46	
7	谷川 哲章	27		47	
8	本田 絢乃	28		48	
9	一ノ瀬 良知	29		49	
10	前田 洋子	30		50	
11	竹内 裕二	31		51	
12		32		52	
13		33		53	
14		34		54	
15		35		55	
16		36		56	
17		37		57	
18		38		58	
19		39		59	
20		40		事務局員	市民協働推進室 川口 育美